

新 謹 年 賀

徳真会グループ
理事長 松村 博史

新年明けまして おめでとうございます

昨年は鳩山政権が1年足らずで崩壊し、新たな管政権も外的には、普天間問題未決着のまま、隣国中国との尖閣をめぐる事件や深まる軍事的恐威、加えてロシアとの北方領土問題の対立、北朝鮮と韓国との軍事的対立等々、まさに国家エゴむき出しの外交問題が続出した年でもありました。

そして内的には、財政問題、景気の低迷等々、深刻な国内問題も多く、まさに今こそ「出でよ龍馬」という気持で、政界のみならず各分野で新たなリーダーが出てくる事を皆が渴望してる時代の様に思います。

今年は、^{つちとうし}己丑九紫火星の年となります。
^{じっかん}十干の「^{つちのと}己」は人が^{ひさす}跪き己を正す事を表し、克己や知己に通じる意味があります。

十二支の「^{うし}丑」は物のはじまりで、^{ひも}紐に通じ生命エネルギーの様々な結合を表します。

そして九紫は才と智を表し、これらを総合的にみて、今年は大きな改革が進む年となるとされます。

日本再生の為の大きな改革の年になってもらいたいものです。

昨年徳真会グループの国内では、技工スタジオが東京目黒に10月オープンし、国内外の高品質の技工物を製作する拠点として、また徳真会グループ以外の技工界の人達へも情報交換の場として動き始めました。

人材育成のHuman Development Academy の研修体制も浸透してきており、今年は研修体制と連動して内外のキャリア取得制度を加えてゆくつもりでおります。

また海外では、8月に香港インプラントセンターと合作で、上海ブローネンマルクインプラントセンターをオープン致しました。現在のインプラント生みの親的存在のブローネンマルク博士の名前を頂いたアジアでは4番目、世界で11番目のセンターで、世界最高水準の技術と教育の場としてインプラントの治療とアジア各国からの歯科スタッフの教育の拠点として始動しております。

今年、徳真会グループがとり組む課題と致しまして、

1. 患者様対応面

- 1) 受け入れ態勢の拡充
 - (1) 年中無休体制の実施(荻川、津川)
 - (2) 大学、専門医との連携強化による高度先端医療の更なる充実(インプラント、審美、歯周病、補綴、外科、障害者歯科等)
 - (3) 診療システムのバージョンアップによる診療現場の効率化と患者様満足度の向上
 - (4) 新設医院オープン(目黒、稲城市)
 - (5) CAD/CAMシステム導入による即日治療スタート(東京地区)
 - (6) 審美に特化した新たな形態の診療所(Ustiny)のスタート(目黒)

2. 組織運営面

- 1) 世界的ネットワーク拡大
 - (1) 技工部門の提携先拡大(カナダ、ドバイ、イギリス、台湾)
 - (2) 提携医院の拡大(東京、ニューヨーク、イギリス、シンガポール、香港、台湾)
- 2) 託児所の新設(東京、仙台地区)
- 3) 徳真会Annual Meetingの第一回大会の開催(4月東京)により、世界各国からの歯科の学術発表と交流会をスタート

昨年の未達成の課題に加え、今年も歯科界のリーディングカンパニーとして、時代先駆の歯科医療を追求してゆくつもりでおります。

御来院の患者様には、お気付きの点がございましたら患者様窓口(0120-24-7072)や現場担当へ何なりとお申し出下さい。

今年、皆様にとって良い年となります事を祈念致しております。



2011年10月、東京都稲城市に国内24ヶ所目となる診療所がオープン。約2000坪の広大な敷地に、託児所付きの診療所を開設致します。